

会 議 概 要

審議会等の名称	令和元年度第2回市川市社会教育委員会議		
開催日時	令和2年2月10日（月）10時30～11時45分		
開催場所	市川市教育委員会会議室		
出席者	委員	千坂行雄委員長、清水輝和副委員長、押田敏郎委員、田中眞理子委員、 天野敏男委員、立原充彦委員、久保川隆志委員、長澤成次委員、 成田久江委員、野澤順治委員	
	所管課	生涯学習部社会教育課 岩澤副主幹、高橋副主幹、浮谷主任主事	
	関係課	生涯学習部松尾部長、根本次長、青少年育成課田中課長、 社会教育課笈川課長、増田主幹、清水主幹、中央図書館大里館長、 考古博物館杉山館長、学校地域連携推進課堀江課長	
議題及び会議の概要		公開・非公開 の別	非公開の場合の理由
第四次市川市生涯学習推進計画における平成30年度の検証について →平成30年度の検証結果について報告した。		公開・非公開	・会議公開指針第6条第 号該当 ・公文書公開条例第8条第 項第 号該当
		公開・非公開	・会議公開指針第6条第 号該当 ・公文書公開条例第8条第 項第 号該当
		公開・非公開	・会議公開指針第6条第 号該当 ・公文書公開条例第8条第 項第 号該当
傍聴者の人数	0人		
閲覧・交付資料	・議題資料1「第四次市川市生涯学習推進計画における平成30年度の検証について」		
特記事項			
所管課	生涯学習部 社会教育課（内線：4328, 4329）		

# 令和元年度 第2回社会教育委員会議録

令和2年2月10日（月）10:30～11:45

市川市教育委員会 会議室

## ■出席者

社会教育委員 千坂行雄 委員長、清水輝和 副委員長、  
押田敏郎、田中眞理子、天野敏男、立原充彦、久保川隆志、長澤成次、  
成田 久江、野澤 順治（10名）

教育委員会

生涯学習部 松尾部長、根本次長、田中青少年育成課長、笈川社会教育課長、大里中央図書館長、  
杉山考古博物館長、清水社会教育課主幹、増田社会教育課主幹、

学校教育部 堀江学校地域連携推進課長

事務局 高橋副主幹、浮谷主任主事

## ■会議録

発言者	内 容
千坂委員長	・市川市社会教育委員設置条例に基づく会議成立の確認
社会教育課長	<p><b>(1)第四次市川市生涯学習推進計画における平成30年度の検証について</b></p> <p>全体の検証結果について、達成率ごとに見ると100パーセントが20事業、80パーセント以上が12事業、50パーセント以上が8事業、50パーセント未満が2事業であった。80パーセント以上の達成率となった事業が全42事業のうち32事業あり、割合としては76パーセントとなっていることから、概ね良好な結果であると考えている。</p> <p>教育委員会が所管する28事業については、100パーセント達成が14事業、80パーセント以上が9事業、50パーセント以上が3事業、50パーセント未満が2事業であった。80パーセント以上の達成率となった事業が全28事業のうち23事業あり、割合としては82パーセントとなっていることから、概ね良好な結果であると考えている。</p> <p>また、市長部局が所管する14事業については、100パーセント達成が6事業、80パーセント以上が3事業、50パーセント以上が5事業、50パーセント未満は0であった。80パーセント以上の達成率となった事業が全14事業のうち9事業、割合としては64パーセントとなり、教育委員会の所管事業と比較すると寂しい結果となった。</p> <p>— その他、施策の方向別検証結果について、資料に基づき説明 —</p>

千坂委員長	目標値を定めるうえで、何か共通の基準があるのか。または事業ごとに前年度の実績等を基に決めているのか。個人的には、参加したい人が参加できるような事業であればそれ程達成率にこだわることもないのではないかと。目標より少なすぎればその事業が要らなかったと考えればよいのではないかと考えている。
社会教育課長	目標値は、各事業の実績などを加味して各課で独自に設定しているものである。
成田委員	子どもの居場所づくり事業（ビーイング）について、昨今、内容が変わってきたのではないと思うが、現状と今後について伺いたい。
学校地域連携推進課長	現在、小学校9カ所で運営しているが、放課後子ども教室という形で従来の業態を若干変えて運営している。従来のビーイングは、学校が終わって家に帰りランドセルを置いてから教室に来る形であったが、放課後子ども教室はランドセルを持ったまま教室に行かれるように変えている。達成率はまだ低い、今後は放課後保育クラブ事業と連携し、子どもたちのニーズに合わせた放課後の子どもの居場所づくりを進めていきたい。
成田委員	当初の目標は、子供たちが家庭にいる雰囲気遊びを中心に学びを深めながらゆったりとした空間の中で過ごすことであったが、先日教室に行ってみると机や棚が普通の教室と同じように配置されており、家庭的雰囲気がなくなっていた。事業の立ち上げ当初から関わっており、今後事業がどのような方向で進んでいくのか気になったので伺いたい。
学校地域連携推進課長	自由な遊びの空間を提供するという当初の目的は変わっておらず、学校の延長のような形は考えていない。しかしながら、今後の運営にあたっては、新たに学習機能を加えながら子どもの居場所づくりに努めていきたい。
成田委員	途中から入った職員にも事業の方向性を理解してもらい、学校ごとに異なるのではなく統一した運営ができるよう研修を行った方がよいと思う。
押田委員	達成率が突出しているコミュニティスクール事業について、当初の目標の5倍以上の達成率になったのには相当の策があったのではないかとと思うが、達成率が低い事業でその策や考え方が活かされればよいと思うので教えてほしい。また、達成率26パーセントの教育普及事業については、市民からのニーズは高いにもかかわらず講師の都合で開催できず残念な結果となったので、次年度可能ならば、古文書についてノウハウを持つ大学の先生や近隣市の学芸員などで補填できると市民の満足度も上がるし、講師陣の横のネットワークも広がるのではないかとと思う。

学校地域連携推進課長	<p>コミュニティスクール事業は、計画を策定した時点ではコミュニティサポート事業としてスタートしたものである。この時は1校あたり15人程度のボランティア派遣を目標としていたが、平成28年度からコミュニティスクール事業に制度を変え、全校の立ち上げが達成されたことや、中学校ブロックで組織されている地域学校協働本部が徐々に立ち上がったことで学校支援コーディネーターが全校に配置され、学校と地域を結ぶネットワークを作っていただけの方が増えたため、ボランティア数が飛躍的に増えたものと捉えている。低い達成値の事業にどのようにつなげていくかについては、学校と地域との関係があるので、学校支援コーディネーターとも相談しながら進めていきたいと考えている。</p>
考古博物館長	<p>非常勤の学芸員が行っていた講座の人气が高く、年間10回以上行っていたが、その学芸員が退職したことが最も大きな理由である。代わりに新たに学芸員を採用して古文書関係の講座を始めたところである。退職した学芸員についても外部講師として単発の講座を持っていただくことも考えている。</p>
長澤委員	<p>ビーイングについて、成果指標が実施学級数となっているが、参加人数の間違ひではないか。また、参加人数だけでなく実施学級数も重要だと思うが、どのくらいなのか。</p>
社会教育課長	<p>ご指摘のとおり、参加人数の誤りである。</p>
学校地域連携推進課長	<p>ビーイングは、学校が終わって不特定多数の子が一つの教室に来るので、学級数単位ではなく学校の中の児童数で捉えている。</p>
長澤委員	<p>目標値の5万人というのはどのような数値なのか。</p>
学校地域連携推進課長	<p>当初の目標値は学校数で割りだした数値で、55校で割ると1校あたり約550人として目標値を設定した。児童数が多い学校と少ない学校があるが、平均値化して割り出した数値である。今となっては目標値が高すぎたのではないかと反省しているところである。</p>
久保川委員	<p>※学校地域連携推進課長より議事録の修正依頼あり（2月18日）      &lt;誤&gt;55校で割ると1校あたり約550人      &lt;正&gt;39校で割ると1校あたり約1,280人</p> <p>少年相談事業について、達成率が42パーセントなのは相談員の休職が原因であるとのことだが、20歳未満の少年の相談件数は右肩上がりだと思うが、休職を見込んだ体制づくりは実際にされてきたのか。また、相談員の休職だけが原因で相談件数</p>

	<p>が増えていながらも対応できない状態が続いていたのか。</p>
社会教育課長	<p>本日は担当部署が出席していないため、体制や実績については後日確認し報告させていただきたい。</p>
千坂委員長	<p>学校支援実践講座について、受け入れている学級数が増えていると思うが、地域の方がどのくらいいるのか、増えているのか伺いたい。</p>
学校地域連携推進課長	<p>学校支援実践講座事業は、いじめの未然防止ということで、地域支援者に人権講座を開催しており、3回受講すると学校の交流会に参加していただき、道徳の授業の中でいじめの事例を参考にしながら地域支援者が子ども達から意見を聞き出すというような授業に取り組んでいる。学級数も地域支援者も増えており、来年度増やす計画である。</p>
成田委員	<p>地域学校協働活動推進事業について、地域の人達が学校に入って子ども達と一緒にふれあったり、何か学校でしてほしいことがあったら、それを地域の人たちが聞いて一緒に醸成していくという、市川市独自の事業だと思う。達成率も多く、高齢者からいろんな人達が学校に入って、非常に良い事業だと思うので、是非頑張って全市に広めていただきたいと思いますのでお願いしたい。</p>
成田委員	<p>動植物園について、海外からの青少年を連れて行った際に、以前はその場でお願いしても説明してもらえたが、今は職員が少ないようで事前に予約しないと無理なのか。</p>
社会教育課長	<p>動植物園については、本計画に盛り込まれていないが、要望があったことを所管部署に伝えさせていただきたい。</p>
野澤委員	<p>コミュニティスクール事業など、学校に地域の方が入って良いことだと思うが、教員の負担が増えるなど学校の方からの苦情等はないのか。</p>
学校地域連携推進課長	<p>会議の開催などで負担をかけているということはあるかと思うが、将来的には働き方改革推進の中で、学校の負担軽減になるような学校運営に持っていけるよう進めていきたい。</p>
成田委員	<p>地域として学校に入っている者からお話しさせていただくと、学校の負担にならないよう、何をしたいかということをまず聞き、それ以外のことはしないようにしている。私たちが入ることによって先生が負担になるのではなく、他の自身の仕事ができるようになることを願ってやっている。学校の負担にならないことがボランティアとしての心構えであり、今後もそのような思いで進めていきたい。</p>

千坂委員長	<p>成田委員のような方が増えていけば、学校もより理解が深まるのではないかと思う。連携するということはプラスの方向にいかないといけないと思う。</p> <p>最後に歴史博物館について、夏に孫を連れて行った際、他の小学生と親御さんに対して、職員が受付で色々なことをやってくださっているのを見てとてもいいなと思った。孫も博物館をまわる中で、また連れてきてほしいというような雰囲気を漂わせているような施設になりつつあることを感じた。地道な活動が進んでいる中での一つの場面だったと思う。</p> <p>本日の議題は以上で終了とする。</p>
事務局	<p>今年度の会議は本日で終了となる。来年度は3回を予定しており、第1回会議は6月から7月を予定している。日時が決まり次第連絡する。</p>

令和2年3月23日 (承認)

市川市社会教育委員長 千坂 行雄 印

1. 生涯学習推進計画の終了の経緯

○令和元年7月社会教育委員会議：計画の終了について承認された

「第3期教育振興基本計画」において、生涯学習に関する施策が拡充されたことから、これまで生涯学習推進計画に位置付けてきた教育委員会の事業は、上位計画の中で網羅された。また、市長部局の該当事業は、それぞれ各分野の計画に網羅されていることから、生涯学習推進計画は今後策定しないこととする。（令和元年度で計画終了）



○令和元年9月定例教育委員会：社会教育委員会議での計画終了の承認について報告

2. 各事業に対する目標値の検証【平成30年度分】

○全89事業のうち目標値を検証する事業数 → 42事業

【全体】42事業

【教育委員会】28事業

【市長部局】14事業

80%以上の達成率：76%

達成率	事業数
100%	20
80%以上	12
50%以上	8
50%未満	2

80%以上の達成率：82%

達成率	事業数
100%	14
80%以上	9
50%以上	3
50%未満	2

80%以上の達成率：64%

達成率	事業数
100%	6
80%以上	3
50%以上	5
50%未満	0

○施策の方向別での達成率（※重複する事業が複数あり）

1. 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり（33事業）

100% ⇒ 19	80%以上 ⇒ 7	50%以上 ⇒ 6	50%未満 ⇒ 1
-----------	-----------	-----------	-----------

80%以上の達成率：79%

2. ネットワークの充実（29事業）

100% ⇒ 18	80%以上 ⇒ 6	50%以上 ⇒ 4	50%未満 ⇒ 1
-----------	-----------	-----------	-----------

80%以上の達成率：83%

3. 自然・風土・歴史・文化的遺産の保護と活用（19事業）

100% ⇒ 11	80%以上 ⇒ 5	50%以上 ⇒ 2	50%未満 ⇒ 1
-----------	-----------	-----------	-----------

80%以上の達成率：84%

4. 家庭教育支援（8事業）

100% ⇒ 5	80%以上 ⇒ 2	50%以上 ⇒ 0	50%未満 ⇒ 1
----------	-----------	-----------	-----------

80%以上の達成率：88%

5. 学校教育支援（18事業）

100% ⇒ 6	80%以上 ⇒ 7	50%以上 ⇒ 4	50%未満 ⇒ 1
----------	-----------	-----------	-----------

80%以上の達成率：72%

6. 地域活動支援（21事業）

100% ⇒ 13	80%以上 ⇒ 4	50%以上 ⇒ 3	50%未満 ⇒ 1
-----------	-----------	-----------	-----------

80%以上の達成率：81%

3. 事業推進目標の検証【平成30年度分】

○施策の方向別で目標達成率が低かった事業の検証（抜粋）

1. 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり

【5-7 共同事業提案制度】ボランティアNPO課

（26年度事業推進目標）

地域課題の解決策となる事業を提案することで地域活性化を促進し、行政も一緒になって構築する。

（30年度検証結果）30年度目標：事業提案件数7件 ⇒ 4件（57%）

提案事業数の減少によるもの。今後、地域活動に意欲のある人材へ制度の活用を促し、活性化を図る。

2. ネットワークの充実

【1-42 教育普及事業（教室・見学会・講演会等）】歴史博物館

（26年度事業推進目標）

歴史講座及び見学会の充実を図っていく。

（30年度検証結果）30年度目標：参加者数1,100人 ⇒ 285人（26%）

講師の都合で休講となった講座により大幅減少。新たな古文書講座等、関心の高いテーマを設定する。

3. 自然・風土・歴史・文化的遺産の保護と活用

※上記2の【1-42 教育普及事業（教室・見学会・講演会等）】と同内容であるため省略。

4. 家庭教育支援

【1-18 少年相談事業】少年センター

（26年度事業推進目標）

青少年とその保護者の悩み相談への対応や相談員等の研修を推進する。

（30年度検証結果）30年度目標：相談者（件）数1,600名 ⇒ 665名（42%）

相談員の休職等により減となった。多様化する相談内容に、利用者が相談しやすい方法を検討する。

5. 学校教育支援

【7-4 中高年保育ボランティア】こども施設運営課

（26年度事業推進目標）

市民の体験や学びの成果を園児に返すことで保育園・家庭・地域の連携強化を図る。

（30年度検証結果）30年度目標：年間延派遣回数3,000回 ⇒ 1,546回（52%）

登録者の高齢化等により減少した。新規登録者の増員と既存登録者との良好な関係作りを目指す。

6. 地域活動支援

【1-11 子どもの居場所づくり事業（ピーイング）】青少年育成課 ⇒ 学校地域連携推進課

（26年度事業推進目標）

地域の人々とのふれあいや異年齢間交流等の体験を通じて、健全育成を図る。

（30年度検証結果）30年度目標：利用者数50,000人 ⇒ 34,736人（69%）

保育を提供する事業にニーズがあると考えられる。放課後保育クラブと連携して継続的に提供する。

事業名	5-6 ボランティア・NPO活動の拡充 [地域ポイント制度]		(ボランティア・NPO課)
事業概要	地域ポイント制度の運営事業 市民のボランティア活動等の関心を高め、市民活動団体に活動の支援及び促進を図り、市民、市民活動団体及び市との協働を推進することで、エコロジーとボランティア活動の助長を図る。		
	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応 ライフステージに応じた生涯学習の充実 地域支援活動を目指す人材の育成	
○	(2) ネットワークの充実	行政内の情報交換、事業面での連携 ○ 高等教育機関、NPO、民間企業との連携 ○ 育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携	
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	各資産の保護と学習資源としての活用	
	(4) 家庭教育支援	保護者の学びを支援する体制の充実 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進	
	(5) 学校教育支援	家庭、学校、地域の連携強化 児童生徒の社会・生活体験活動の充実	
	(6) 地域活動支援	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化 公民館を中核としたコミュニティの活性化 学校を中核としたコミュニティの活性化	

事業名	5-7 ボランティア・NPO活動の拡充 [協働事業提案制度]		(ボランティア・NPO課)
事業概要	協働事業提案制度運営 市民等が地域の身近な課題を解決するために、事業を企画提案し、市と協働で事業を実施していく制度。自らの地域は、市民自らが創っていくという市民主体の地域づくりを推進し、市民活動の促進、活性化を図っていく。		
◎	(1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	◎ 学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応 ◎ ライフステージに応じた生涯学習の充実 ◎ 地域支援活動を目指す人材の育成	
◎	(2) ネットワークの充実	◎ 行政内の情報交換、事業面での連携 ◎ 高等教育機関、NPO、民間企業との連携 ◎ 育成人材とコーディネーター、各団体、事業の連携	
	(3) 自然、風土、歴史、文化資産の活用	各資産の保護と学習資源としての活用	
	(4) 家庭教育支援	保護者の学びを支援する体制の充実 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進	
	(5) 学校教育支援	家庭、学校、地域の連携強化 児童生徒の社会・生活体験活動の充実	
	(6) 地域活動支援	社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化 公民館を中核としたコミュニティの活性化 学校を中核としたコミュニティの活性化	
年度	26年度		30年度
事業推進目標	地域の課題は地域で解決することを前提として、その解決策となる事業提案をすることで、市民等による地域活性化を促進し、行政もそのノウハウを一緒になって構築していく。		※31年4月検証
成果指標	協働事業提案実施件数		
実績・目標値	25年度実績 6件	30年度目標 7件	30年度達成数 ※31年4月確認

○全89事業のうち目標値を検証する事業（全42事業）

80%以上の達成率：76%

達成率	事業No.	事業名	達成率
100% (20事業)	1-3	コミュニティ・スクール 地域学校協働活動推進事業 (旧：コミュニティサポート事業)	508%
	5-4	各種関係団体の育成・支援[研修会、講習会等開催]	365%
	1-43	教育普及事業[縄文体験学習及び関連研究会・ボランティア指導養成講座等] (歴史博物館)	250%
	1-36	教育普及事業[教室・見学会・講演会等] (考古博物館)	244%
	3-2	人権啓発講演会事業	240%
	1-4	学校支援実践講座事業	208%
	4-3	市川の文化人展等事業	172%
	3-1	男女共同参画センター講座事業	150%
	1-37	教育普及事業[縄文体験学習及び関連研究会・ボランティア指導養成講座等] (考古博物館)	145%
	1-38	教育普及事業[歴史カレッジ] (考古博物館)	141%
	1-44	教育普及事業[歴史カレッジ] (歴史博物館)	141%
	5-3	各種関係団体の育成・支援[ボランティア・NPO活動センター]	135%
	1-40	広報活動事業[行事・企画展に向けた情報提供] (考古博物館)	120%
	1-46	広報活動行事[行事・企画展等に向けた情報提供] (歴史博物館)	115%
	1-41	展示事業[常設展・企画展等] (歴史博物館)	106%
	1-34	地域行政資料の収集・保存と活用	105%
	1-1	家庭教育学級運営事業	104%
	5-8	消費生活センター相談及び啓発事業	104%
	1-32	レファレンスサービス	100%
	1-33	子どもの読書活動推進事業	100%
80%以上 (12事業)	1-5	史跡公有化事業	98%
	7-3	こども発達相談室事業	96%
	1-20	公民館主催講座活動事業	94%
	1-14	青少年指導者育成事業	93%
	1-17	環境浄化啓発活動事業	91%
	1-19	いちかわ市民アカデミー講座事業	90%
	1-35	展示事業[常設展・企画展・巡回展等] (考古博物館)	89%
	5-5	ボランティア活動等啓発事業[夏休み体験ボランティア]	88%
	4-1	東山魁夷記念館管理運営事業	87%
	1-29	少年自然の家運営事業	83%
	1-10	コミュニティクラブ事業	82%
	1-31	少年自然の家プラネタリウム運営事業	81%
50%以上 (8事業)	5-2	情報提供事業	75%
	1-39	教育普及事業[縄文体験フェスティバル in 堀之内貝塚・オータムフェスタ] (考古博物館)	74%
	1-45	教育普及事業[縄文体験フェスティバル in 堀之内貝塚・オータムフェスタ] (歴史博物館)	74%
	1-11	子どもの居場所づくり事業 (ピーイング)	69%
	5-1	各種関係団体の育成・支援[市民活動団体支援制度]	65%
	8-1	スポーツ指導者育成事業	63%
	5-7	ボランティア・NPO活動の拡充[協働事業提案制度]	57%
	7-4	中高年保育ボランティア	52%
50%未満 (2事業)	1-18	少年相談事業	42%
	1-42	教育普及事業[教室・見学会・講演会等] (歴史博物館)	26%

○教育委員会が所管する目標値を検証する事業（28事業）

80%以上の達成率：82%

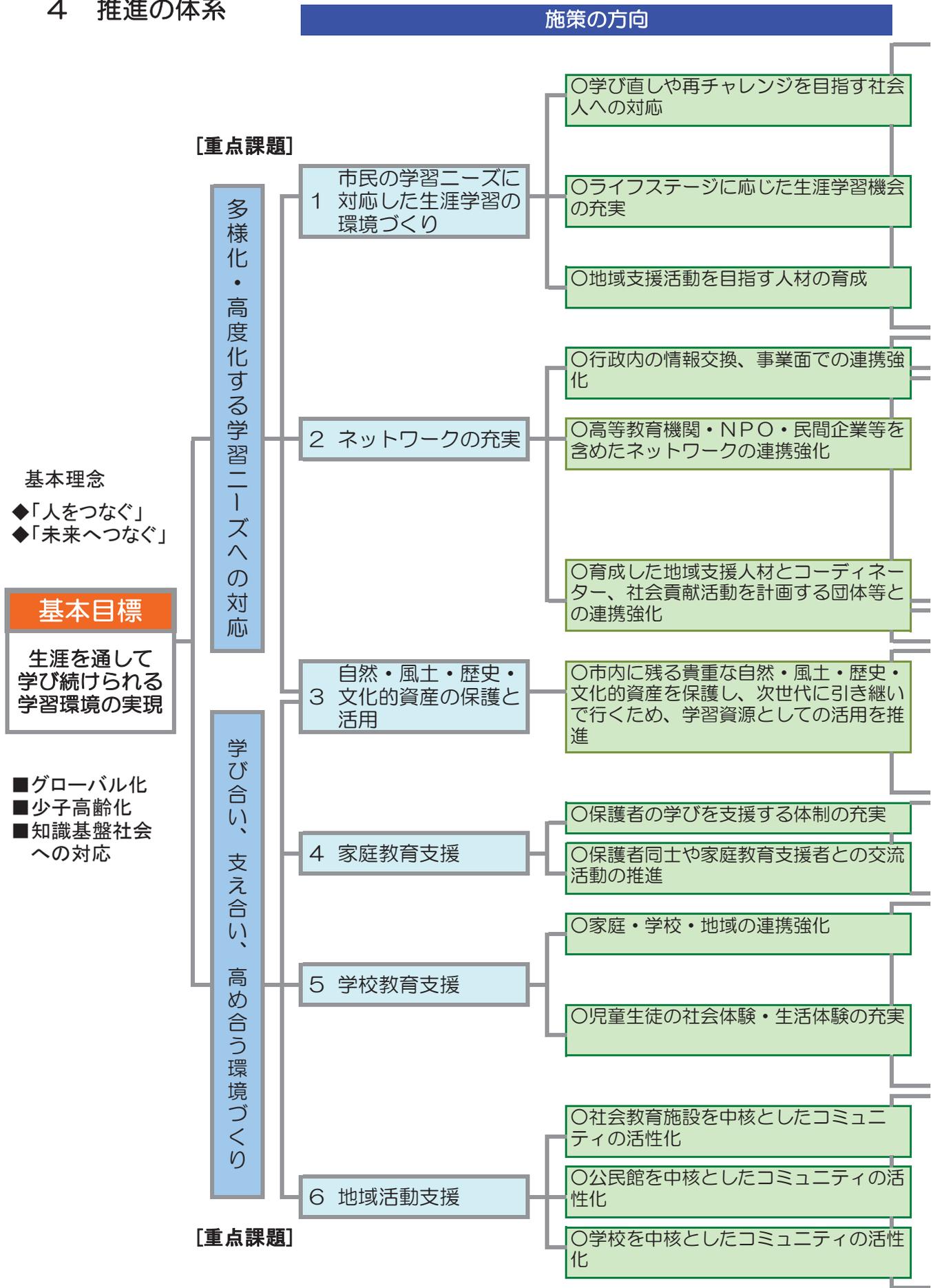
達成率	事業No.	事業名	達成率
100% (14事業)	1-3	コミュニティ・スクール 地域学校協働活動推進事業 (旧：コミュニティサポート事業)	508%
	1-43	教育普及事業[縄文体験学習及び関連研究会・ボランティア指導 養成講座等] (歴史博物館)	250%
	1-36	教育普及事業[教室・見学会・講演会等] (考古博物館)	244%
	1-4	学校支援実践講座事業	208%
	1-37	教育普及事業[縄文体験学習及び関連研究会・ボランティア指導 養成講座等] (考古博物館)	145%
	1-38	教育普及事業[歴史カレッジ] (考古博物館)	141%
	1-44	教育普及事業[歴史カレッジ] (歴史博物館)	141%
	1-40	広報活動事業[行事・企画展に向けた情報提供] (考古博物館)	120%
	1-46	広報活動行事[行事・企画展等に向けた情報提供] (歴史博物館)	115%
	1-41	展示事業[常設展・企画展等] (歴史博物館)	106%
	1-34	地域行政資料の収集・保存と活用	105%
	1-1	家庭教育学級運営事業	104%
	1-32	レファレンスサービス	100%
	1-33	子どもの読書活動推進事業	100%
80%以上 (9事業)	1-5	史跡公有化事業	98%
	1-20	公民館主催講座活動事業	94%
	1-14	青少年指導者育成事業	93%
	1-17	環境浄化啓発活動事業	91%
	1-19	いちかわ市民アカデミー講座事業	90%
	1-35	展示事業[常設展・企画展・巡回展等] (考古博物館)	89%
	1-29	少年自然の家運営事業	83%
	1-10	コミュニティクラブ事業	82%
	1-31	少年自然の家プラネタリウム運営事業	81%
50%以上 (3事業)	1-39	教育普及事業[縄文体験フェスティバル in 堀之内貝塚・オー タムフェスタ] (考古博物館)	74%
	1-45	教育普及事業[縄文体験フェスティバル in 堀之内貝塚・オー タムフェスタ] (歴史博物館)	74%
	1-11	子どもの居場所づくり事業(ヒーリング)	69%
50%未満 (2事業)	1-18	少年相談事業	42%
	1-42	教育普及事業[教室・見学会・講演会等] (歴史博物館)	26%

○市長部局が所管する目標値を検証する事業（14事業）

80%以上の達成率：64%

達成率	事業No.	事業名	達成率
100% (6事業)	5-4	各種関係団体の育成・支援 [研修会、講習会等開催]	365%
	3-2	人権啓発講演会事業	240%
	4-3	市川の文化人展等事業	172%
	3-1	男女共同参画センター講座事業	150%
	5-3	各種関係団体の育成・支援 [ボランティア・NPO活動センター]	135%
	5-8	消費生活センター 相談及び啓発事業	104%
80%以上 (3事業)	7-3	こども発達相談室事業	96%
	5-5	ボランティア活動等啓発事業 [夏休み体験ボランティア]	88%
	4-1	東山魁夷記念館管理運営事業	87%
50%以上 (5事業)	5-2	情報提供事業	75%
	5-1	各種関係団体の育成・支援 [市民活動団体支援制度]	65%
	8-1	スポーツ指導者育成事業	63%
	5-7	ボランティア・NPO活動の 拡充[協働事業提案制度]	57%
	7-4	中高年保育ボランティア	52%

# 4 推進の体系



○施策の方向別事業

1. 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり（33事業）

80%以上の達成率：79%

達成率	事業No.	事業名	達成率
100% (19事業)	1-3	コミュニティ・スクール 地域学校協働活動推進事業 (旧：コミュニティサポート事業)	508%
	5-4	各種関係団体の育成・支援[研修会、講習会等開催]	365%
	1-43	教育普及事業[縄文体験学習及び関連研究会・ボランティア指導養成講座等] (歴史博物館)	250%
	1-36	教育普及事業[教室・見学会・講演会等] (考古博物館)	244%
	3-2	人権啓発講演会事業	240%
	1-4	学校支援実践講座事業	208%
	3-1	男女共同参画センター講座事業	150%
	1-37	教育普及事業[縄文体験学習及び関連研究会・ボランティア指導養成講座等] (考古博物館)	145%
	1-38	教育普及事業[歴史カレッジ] (考古博物館)	141%
	1-44	教育普及事業[歴史カレッジ] (歴史博物館)	141%
	5-3	各種関係団体の育成・支援[ボランティア・NPO活動センター]	135%
	1-40	広報活動事業[行事・企画展に向けた情報提供] (考古博物館)	120%
	1-46	広報活動行事[行事・企画展等に向けた情報提供] (歴史博物館)	115%
	1-41	展示事業[常設展・企画展等] (歴史博物館)	106%
	1-34	地域行政資料の収集・保存と活用	105%
	1-1	家庭教育学級運営事業	104%
	5-8	消費生活センター相談及び啓発事業	104%
	1-32	レファレンスサービス	100%
	1-33	子どもの読書活動推進事業	100%
80%以上 (7事業)	1-20	公民館主催講座活動事業	94%
	1-19	いちかわ市民アカデミー講座事業	90%
	1-14	青少年指導者育成事業	93%
	1-35	展示事業[常設展・企画展・巡回展等] (考古博物館)	89%
	5-5	ボランティア活動等啓発事業[夏休み体験ボランティア]	88%
	1-29	少年自然の家運営事業	83%
	1-31	少年自然の家プラネタリウム運営事業	81%
50%以上 (6事業)	5-2	情報提供事業	75%
	1-39	教育普及事業 [縄文体験フェスティバル in 堀之内貝塚・オータムフェスタ] (考古博物館)	74%
	1-45	教育普及事業 [縄文体験フェスティバル in 堀之内貝塚・オータムフェスタ] (歴史博物館)	74%
	5-1	各種関係団体の育成・支援[市民活動団体支援制度]	65%
	8-1	スポーツ指導者育成事業	63%
	5-7	ボランティア・NPO活動の拡充[協働事業提案制度]	57%
50%未満 (1事業)	1-42	教育普及事業[教室・見学会・講演会等] (歴史博物館)	26%

○施策の方向別事業

2. ネットワークの充実（29事業）

80%以上の達成率：83%

達成率	事業No.	事業名	達成率
100% (18事業)	1-3	コミュニティ・スクール 地域学校協働活動推進事業 (旧：コミュニティサポート事業)	508%
	5-4	各種関係団体の育成・支援[研修会、講習会等開催]	365%
	1-43	教育普及事業[縄文体験学習及び関連研究会・ボランティア指導養成講座等] (歴史博物館)	250%
	1-36	教育普及事業[教室・見学会・講演会等] (考古博物館)	244%
	3-2	人権啓発講演会事業	240%
	1-4	学校支援実践講座事業	208%
	3-1	男女共同参画センター講座事業	150%
	1-37	教育普及事業[縄文体験学習及び関連研究会・ボランティア指導養成講座等] (考古博物館)	145%
	1-38	教育普及事業[歴史カレッジ] (考古博物館)	141%
	1-44	教育普及事業[歴史カレッジ] (歴史博物館)	141%
	5-3	各種関係団体の育成・支援[ボランティア・NPO活動センター]	135%
	1-40	広報活動事業[行事・企画展に向けた情報提供] (考古博物館)	120%
	1-41	展示事業[常設展・企画展等] (歴史博物館)	106%
	1-34	地域行政資料の収集・保存と活用	105%
	1-1	家庭教育学級運営事業	104%
	5-8	消費生活センター相談及び啓発事業	104%
	1-32	レファレンスサービス	100%
	1-33	子どもの読書活動推進事業	100%
80%以上 (6事業)	7-3	こども発達相談室事業	96%
	1-20	公民館主催講座活動事業	94%
	1-14	青少年指導者育成事業	93%
	1-19	いちかわ市民アカデミー講座事業	90%
	1-35	展示事業[常設展・企画展・巡回展等] (考古博物館)	89%
	1-29	少年自然の家運営事業	83%
50%以上 (4事業)	5-2	情報提供事業	75%
	5-1	各種関係団体の育成・支援[市民活動団体支援制度]	65%
	8-1	スポーツ指導者育成事業	63%
	5-7	ボランティア・NPO活動の拡充[協働事業提案制度]	57%
50%未満 (1事業)	1-42	教育普及事業[教室・見学会・講演会等] (歴史博物館)	26%

○施策の方向別事業

3. 自然・風土・歴史・文化的遺産の保護と活用（19事業）

80%以上の達成率：84%

達成率	事業No.	事業名	達成率
100% (11事業)	1-43	教育普及事業[縄文体験学習及び関連研究会・ボランティア指導養成講座等] (歴史博物館)	250%
	1-36	教育普及事業[教室・見学会・講演会等](考古博物館)	244%
	4-3	市川の文化人展等事業	172%
	1-37	教育普及事業[縄文体験学習及び関連研究会・ボランティア指導養成講座等] (考古博物館)	145%
	1-38	教育普及事業[歴史カレッジ](考古博物館)	141%
	1-44	教育普及事業[歴史カレッジ](歴史博物館)	141%
	1-40	広報活動事業[行事・企画展に向けた情報提供](考古博物館)	120%
	1-46	広報活動行事[行事・企画展等に向けた情報提供](歴史博物館)	115%
	1-41	展示事業[常設展・企画展等](歴史博物館)	106%
	1-34	地域行政資料の収集・保存と活用	105%
	1-32	レファレンスサービス	100%
80%以上 (5事業)	1-5	史跡公有化事業	98%
	1-35	展示事業[常設展・企画展・巡回展等](考古博物館)	89%
	4-1	東山魁夷記念館管理運営事業	87%
	1-29	少年自然の家運営事業	83%
	1-31	少年自然の家プラネタリウム運営事業	81%
50%以上 (2事業)	1-39	教育普及事業[縄文体験フェスティバル in 堀之内貝塚・オータムフェスタ] (考古博物館)	74%
	1-45	教育普及事業[縄文体験フェスティバル in 堀之内貝塚・オータムフェスタ] (歴史博物館)	74%
50%未満 (1事業)	1-42	教育普及事業[教室・見学会・講演会等](歴史博物館)	26%

○施策の方向別事業

4. 家庭教育支援（8事業）

80%以上の達成率：88%

達成率	事業No.	事業名	達成率
100% (5事業)	1-3	コミュニティ・スクール 地域学校協働活動推進事業 (旧：コミュニティサポート事業)	508%
	3-2	人権啓発講演会事業	240%
	3-1	男女共同参画センター講座事業	150%
	1-1	家庭教育学級運営事業	104%
	1-33	子どもの読書活動推進事業	100%
80%以上 (2事業)	7-3	こども発達相談室事業	96%
	1-29	少年自然の家運営事業	83%
50%未満 (1事業)	1-18	少年相談事業	42%

○施策の方向別事業

5. 学校教育支援（18事業）

80%以上の達成率：72%

達成率	事業No.	事業名	達成率
100% (6事業)	1-3	コミュニティ・スクール 地域学校協働活動推進事業 (旧：コミュニティサポート事業)	508%
	3-2	人権啓発講演会事業	240%
	1-4	学校支援実践講座事業	208%
	1-1	家庭教育学級運営事業	104%
	1-32	レファレンスサービス	100%
	1-33	子どもの読書活動推進事業	100%
80%以上 (7事業)	7-3	こども発達相談室事業	96%
	1-20	公民館主催講座活動事業	94%
	1-17	環境浄化啓発活動事業	91%
	1-35	展示事業[常設展・企画展・巡回展等]（考古博物館）	89%
	5-5	ボランティア活動等啓発事業[夏休み体験ボランティア]	88%
	1-29	少年自然の家運営事業	83%
	1-31	少年自然の家プラネタリウム運営事業	81%
50%以上 (4事業)	5-2	情報提供事業	75%
	1-11	子どもの居場所づくり事業（ピーイング）	69%
	8-1	スポーツ指導者育成事業	63%
	7-4	中高年保育ボランティア	52%
50%未満 (1事業)	1-18	少年相談事業	42%

○施策の方向別事業

6. 地域活動支援（21事業）

80%以上の達成率：81%

達成率	事業No.	事業名	達成率
100% (13事業)	1-3	コミュニティ・スクール 地域学校協働活動推進事業 (旧：コミュニティサポート事業)	508%
	1-43	教育普及事業[縄文体験学習及び関連研究会・ボランティア指導養成講座等] (歴史博物館)	250%
	1-36	教育普及事業[教室・見学会・講演会等] (考古博物館)	244%
	3-2	人権啓発講演会事業	240%
	1-4	学校支援実践講座事業	208%
	3-1	男女共同参画センター講座事業	150%
	1-37	教育普及事業[縄文体験学習及び関連研究会・ボランティア指導養成講座等] (考古博物館)	145%
	1-38	教育普及事業[歴史カレッジ] (考古博物館)	141%
	1-44	教育普及事業[歴史カレッジ] (歴史博物館)	141%
	1-40	広報活動事業[行事・企画展に向けた情報提供] (考古博物館)	120%
	1-46	広報活動行事[行事・企画展等に向けた情報提供] (歴史博物館)	115%
	1-41	展示事業[常設展・企画展等] (歴史博物館)	106%
	1-1	家庭教育学級運営事業	104%
80%以上 (4事業)	1-20	公民館主催講座活動事業	94%
	1-19	いちかわ市民アカデミー講座事業	90%
	1-35	展示事業[常設展・企画展・巡回展等] (考古博物館)	89%
	1-10	コミュニティクラブ事業	82%
50%以上 (3事業)	1-39	教育普及事業[縄文体験フェスティバル in 堀之内貝塚・オータムフェスタ] (考古博物館)	74%
	1-45	教育普及事業[縄文体験フェスティバル in 堀之内貝塚・オータムフェスタ] (歴史博物館)	74%
	1-11	子どもの居場所づくり事業 (ピーイング)	69%
50%未満 (1事業)	1-42	教育普及事業[教室・見学会・講演会等] (歴史博物館)	26%

## 第四次生涯学習推進計画 各事業の進捗と検証

No.	事業No.	事業名・部署名	事業推進目標		平成30年度検証			
1	1-1	家庭教育学級運営事業	25年度に行った方針変更（「指導員派遣講座」「共通講座」の導入）の検証を行うと共に、「グローバル化」「少子高齢化」「知識基盤社会への対応」に関する「共通講座」の設定と「関連団体や行政内の各事業との連携」の拡大に取り組む。		<ul style="list-style-type: none"> <li>指導員派遣講座を全61学級で実施し、親の学び、コミュニケーションを図る場を提供する。</li> <li>市川市の各課等が主催する子育てに関する講座を「共通講座」として設定し、興味関心に応じて個人で参加できる学びの場を提供する。</li> </ul>			
		学校地域連携推進課	成果指標	「役立った」と回答した割合	目標値	95%	達成値	99%
2	1-3	コミュニティ・スクール地域学校協働活動推進事業 (旧：コミュニティサポート事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域支援者の積極的な参画を促し「家庭、学校、地域および行政が行う各事業の連携を推進」すると共に「児童生徒の安全と社会体験、生活体験の充実を地域から支援する体制の強化」と「学校を核とした地域振興、コミュニティの活性化」に取り組む。</li> <li>学校支援コーディネーターの活動（学校支援ボランティア活動の活性化）を定着させていく。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域と学校の情報共有・協議が進み、地域と学校の連携・協働体制が推進された。</li> <li>「地域学校協働活動推進員（学校支援コーディネーター）」が全ての市立幼稚園・学校に配置され、地域と学校の連携・協働体制の充実が図られた。</li> <li>「コミュニティサポート委員会」から「地域学校協働本部」へ移行するに当たり、市川版コミュニティ・スクール（学校運営協議会と地域学校協働本部）の一層の充実・発展が必要である。</li> </ul>			
		学校地域連携推進課	成果指標	ボランティア派遣人数	目標値	840人	達成値	4,270人
3	1-4	学校支援実践講座事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流会での学習プログラム、教材開発について千葉大学教育学部、市教育委員会学校教育部との連携を推進する。</li> <li>地域支援者として主体的な参加を促しに継続して受講できるような計画を作成し、コミュニティ内で新規受講者を増やすことで地域と連携したいじめ未然防止活動を推進していく。</li> <li>各学校の「いじめ防止基本計画」で未然防止の具体的方策として位置づけ、継続的に取り組む学校を増やしていく。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>交流会での学習プログラム、教材開発について千葉大学教育学部、市教育委員会学校教育部との連携を推進する。</li> <li>地域支援者として主体的な参加を促しに継続して受講できるような計画を作成し、コミュニティ内で新規受講者を増やすことで地域と連携したいじめ未然防止活動を推進していく。</li> <li>各学校の「いじめ防止基本計画」で未然防止の具体的方策として位置づけ、継続的に取り組む学校を増やしていく。</li> </ul>			
		学校地域連携推進課	成果指標	実施学級数	目標値	50学級	達成値	104学級
4	1-5	史跡公有化事業	史跡の保存・整備を実施するため、用地の公有化を図る。		当該年度で公有化を予定していた土地（曾谷2-509-1以下9筆）の公有化を完了した。			
		考古博物館	成果指標	公有化率	目標値	76.22%	達成値	74.81%
5	1-10	コミュニティクラブ事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の特色やボランティアの専門性を生かした体験活動や人との交流を通して、子どもたちの「生きる力」を養う。</li> <li>複数のブロックで人材を共有できるように、ブロック同士の交流を深める。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の特色やボランティアの専門性を生かした遊びの体験、他者との交流活動を通して、子どもたちの「生きる力」を養う。</li> <li>複数のブロックで人材を共有、活用できるようにブロック同士の交流を深める。</li> </ul>			
		学校地域連携推進課	成果指標	参加人数	目標値	42,000人	達成値	34,326人
6	1-11	子どもの居場所づくり事業 (ビーイング)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の人々とのふれあいや異年齢間交流による豊かな生活体験を通じて、子どもたちの生きる力、創造性豊かな心、共感する心を養い、健全育成を図る。</li> <li>遊びについて、スタッフが子どもたちの自主性を大切にサポート役となるとともに、様々な特技や技術を生かし、色々な遊びを提供する。</li> <li>運営について、地域の諸団体、学校、PTA等が一体となって、地域で子どもを育ていく意識を高める。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>30年度における利用者数の目標と実績の乖離については、保護者のニーズがビーイングのような居場所を提供する事業よりも、青少年育成課が所管している放課後保育クラブのような、保育を提供する事業を求めているためではないかと考えられる。</li> <li>今後は国の施策である「新・放課後子ども総合プラン（平成30年9月14日）」に則り、事業を推進していく。</li> <li>放課後保育クラブと連携して、学習の支援、スポーツ、書道その他の活動、地域と学校との交流活動等の機会を継続的に提供する。</li> </ul>			
		学校地域連携推進課	成果指標	実施学級数	目標値	50,000人	達成値	34,736人
7	1-14	青少年指導者育成事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>育成人材（主に中学生～大学生）の活動の場として、青少年ボランティア団体（市川市ジュニアリーダーサークル、市川市リーダーサークル）との連携を強化する。</li> <li>講習会の講師について、野外活動やレクリエーション技術の指導ができる地域人材及び外部（市外）講師の発掘に力を入れる。</li> </ul>		小学5・6年生対象のわんぱくセミナー、中学生対象のジュニアリーダー講習会、高校生対象のヤングカルチャースクールを開催し、グループワークやレクリエーション講習の他、学年や年齢を超えた合同キャンプ実習を行い、知識や技術を体験的に学べる環境をつくった。また、子どもに関わる活動や仕事を行っている方を対象としたグループリーダーアカデミーでは、子どもの育成についてのグループワーク等の座学や、工作、レクリエーションなどの実技講習を開催した。講師については、既存講師に紹介を頂く等、新規発掘を行い、講習会を開催した。しかし、青少年ボランティア団体との連携強化については、団体の活動が衰退してしまったため、達成できなかった。			
		青少年育成課	成果指標	「参加してよかった」と回答した割合	目標値	100%	達成値	92.9%

第四次生涯学習推進計画 各事業の進捗と検証

No.	事業No.	事業名・部署名	事業推進目標		平成30年度検証			
8	1-17	環境浄化啓発活動事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>有害環境を浄化するためにキャンペーンを行い、浄化意識を高める。</li> <li>推進会議の各団体や市内中学、高校の生徒のボランティアにより、キャンペーン活動の充実を図る。</li> </ul>		市川市明るい環境をつくる会主催の「薬物乱用防止キャンペーン」において、各関係団体及び市内中高校生のボランティアとともに啓発用リーフレットの配布活動を行う。参加する中高生のボランティアにも薬物乱用防止への関心を高めてもらう。			
		少年センター	成果指標	ボランティア数	目標値	150名	達成値	137名
9	1-18	少年相談事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校就学時から20歳未満の青少年とその保護者の悩み相談に対応していく。</li> <li>相談活動がより充実するように相談員等の研修を推進する。</li> <li>相談方法…電話、eメール、面接</li> </ul>		少年相談の件数については、6月より相談員の休職等があったため、相談に関する、対応人数の実質減という事情から、こちらの体制が整わず、相談件数が減少してしまった。また、昨今のLINEなどのSNSの普及により、メールを利用した相談件数が減少してきている。ただ、新規の相談件数は例年通り増えており、相談内容も多様化してきている。今後、利用者がより相談がしやすい方法の検討を図るとともに、相談窓口の利用について、生徒指導主任会などの会議を通じて各学校や、補導員会議など人の集まる場所で、市民への周知活動を行っていきたい。			
		少年センター	成果指標	相談件数（人数）	目標値	1,600名	達成値	665名
10	1-19	いちかわ市民アカデミー講座事業	本講座を受講することにより、新しい知識を習得するだけでなく、広く仲間づくりを図るとともに、学習の成果を地域活動の中に活かし、地域社会づくりの構築に資するものとする。		講座全体に対する満足度について受講者にアンケートを実施した結果、満足及び大満足と答えた受講者は回答者数の約54%にとどまった。この結果から、受講者は講座の構成に対して十分な満足度を得ていなかったことがわかる。受講者は自身の関心が高い講座のみに参加し、関心が低いものには出席しない傾向が見られるため、更にニーズの把握に努める必要がある。			
		社会教育課	成果指標	参加率	目標値	74%	達成値	66.6%
11	1-20	公民館主催講座活動事業	学習機会の提供により、地域住民の教養の向上、生活文化の振興、健康増進、社会福祉の増進を図る。		受講者アンケートでは約98%満足度が得られ、教養向上や健康増進に概ね寄与できており、特に趣味や健康関連の講座は好評を得やすいことがわかった。しかし、公民館職員1人当たりの勤務日数減少や講師謝礼金予算の削減から、目標講座数達成には至らなかった。今後は、地域のコミュニティや生活課題への取組み・若年層の受講促進など、開催数よりもテーマや内容を工夫した講座の提供に努めていく。			
		社会教育課	成果指標	講座数	目標値	305講座	達成値	287講座
12	1-29	少年自然の家運営事業	大町レクリエーションゾーン内の宿泊施設として、豊かな自然環境を活かし、学校や自然博物館と連携するとともに他市教育委員会や団体にも広報活動を行い利用者の増加を図る。		周辺各市や市公式webサイトで広報活動を行った結果、宿泊者数は例年と同程度だったが、日帰り利用者は冬の大規模なイベントが中止になったため減、またプラネタリウム見学者も天候の影響で減少し、目標値の達成はならなかった。			
		少年自然の家	成果指標	利用者数	目標値	16,500人	達成値	13,759人
13	1-31	少年自然の家プラネタリウム運営事業	一般見学者・児童・生徒が天体について学習し、興味を持つことができるようプログラムを更新したり、プラネタリウムコンサートを主催したり、興味を持てる事業と広報活動の工夫により見学者の増加を図る。		30年にプログラムを更新し見学者には「子供のみならず大人も楽しめた」と好評であるが、見学者数は一般投影・学習投影ともに投影日の天気の影響で例年よりも減となり、目標値の達成はならなかった。（見学者数はPLコンサート参加者214人を含む）			
		少年自然の家	成果指標	見学者数	目標値	8,800人	達成値	7,128人
14	1-32	レファレンスサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の学習活動の充実について、社会情勢や生活の変化に応じた市民ニーズを把握して図書館資料を収集する。</li> <li>レファレンスサービスについて、司書のレファレンス技量の向上に努め、市内外の図書館等との連携を強化し、市民の学習要求、調査研究に応える。</li> <li>レファレンスの事例について、「レファレンス記録票」を作成、職員間で情報共有し、国立国会図書館のレファレンス協同データベースに事例を提供する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>レファレンス事例集を11回発行した。利用者の課題解決に役立つパスファインダーを4種作成し25種に増加した。国立国会図書館のレファレンス協同データベースへ222点の事例提供を行った。</li> <li>蓄積してきたレファレンス事例やツールを体系的に管理し、市民の調査研究に対応できる利用環境を整備する。</li> </ul>			
		中央図書館	成果指標	事例集等の発行	目標値	継続発行・発展	達成値	継続発行・発展
15	1-33	子どもの読書活動推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブックリストについて、子どもや周囲の大人が本を選ぶ際の参考になるようなものを子どもの発達段階に応じて作成し、市内の小学校や図書館来館者に配布する。</li> <li>学校図書館支援について、市内公立小中学校に対象年齢に応じたセット貸出を行うなど、教育センターや学校図書館との連携を強化する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ブックリストを6種類作成した。また、定期的読み聞かせ会を246回、児童サービスイベントを18回行った。</li> <li>学校図書館支援として、教育センターや学校図書館と連携を図る。</li> <li>中高生世代の利用拡大向け環境を整備する。</li> </ul>			
		中央図書館	成果指標	推進行事等実施	目標値	継続実施及び拡大	達成値	継続実施及び拡大

第四次生涯学習推進計画 各事業の進捗と検証

No.	事業No.	事業名・部署名	事業推進目標	平成30年度検証				
16	1-34	地域行政資料の収集・保存と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の著作物について、寄贈を呼びかけ積極的な収集を図り、図書館資料として保存する。</li> <li>地域資料の収集・整理について、地域の資料や情報を蓄積し、貴重な資料の劣化防止のため電子化を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域行政資料の蔵書冊数は、29年度より1,438冊増加し、58,007冊。12月にデジタルアーカイブシステムを導入し、古い地図を中心に電子化して館内公開した。</li> <li>順次資料の電子化を図り、資料の劣化対策及び広く市民が利用できる環境を整備する。</li> </ul>				
		中央図書館	成果指標	蔵書冊数	目標値	55,000冊	達成値	58,007冊
17	1-35	展示事業 [常設展・企画展・巡回展等]	考古博物館の常設展示内容により調査研究でわかった最新の情報を展示し、来館者数の拡大に努める。	常設展示だけでなく、ホール小展示や速報展を実施した。				
		考古博物館	成果指標	来館者数	目標値	23,000人	達成値	20,364人
18	1-36	教育普及事業 [教室・見学会・講演会等]	考古学教室及び見学会、講演会の充実を図っていく。	講演会・講座については、その時代の特色や生活状況等を学ぶ機会が得られ大変好評であった。				
		考古博物館	成果指標	参加者数	目標値	800人	達成値	1,952人
19	1-37	教育普及事業 [縄文体験学習及び関連研究会・ボランティア指導養成講座等]	縄文体験学習及びこの事業に関連する養成講座の充実を図っていく。	縄文体験学習については、市川の縄文人たちの海辺の暮らしについて、体験（出前授業含む）や見学を通じて学習するもので好評であった。				
		考古博物館	成果指標	参加者数	目標値	1,800人	達成値	2,610人
20	1-38	教育普及事業[歴史カレッジ]	歴史カレッジの講義及び講演会の充実を図っていく。	受講者の期待に副える講座を開催できたことにより、概ね目標を達成できた。				
		考古博物館	成果指標	受講者数	目標値	400人	達成値	562人
21	1-39	教育普及事業 [縄文体験フェスティバル in 堀之内貝塚・オータムフェスタ]	縄文体験フェスティバル及びオータム等の充実を図っていく。	この時期は他に多くのイベントが開催され、集客が見込めないことからオータムフェスタの開催を中止した。今後は、多くの集客が見込まれる夏休み期間中のイベントの充実を図る。				
		考古博物館	成果指標	参加者数	目標値	1,500人	達成値	1,104人
22	1-40	広報活動事業[行事・企画展に向けた情報提供]	行事・企画展等に向けた情報提供の充実	「考古・歴史博物館だより」は、年4回2,500部を発行し、体験学習の参加数や来館者の増加につながっている。				
		考古博物館	成果指標	広報紙掲載件数	目標値	20件	達成値	24件
23	1-41	展示事業[常設展・企画展等]	歴史博物館の常設展示物の見直しを多くして、来館者数の拡大に努める。	企画展示の整備と常設展示の一部展示替えとともに、体験学習の成果を得た。				
		歴史博物館	成果指標	来館者数	目標値	23,000人	達成値	24,292人
24	1-42	教育普及事業 [教室・見学会・講演会等]	歴史講座及び見学会の充実を図っていく。	最も受講者数が多かった江戸時代の古文書講座が、講師の都合により開催できなかったため、参加者が大幅に減少した。今後、新たな古文書講座の実施及び、人々の関心の高いテーマを設定する。				
		歴史博物館	成果指標	参加者数	目標値	1,100人	達成値	285人
25	1-43	教育普及事業 [縄文体験学習及び関連研究会・ボランティア指導養成講座等]	昔の暮らし体験学習及びこの事業に関連する養成講座の充実を図っていく。	「昔の暮らし体験」に新展示を追加し、学校への周知とボランティアの解説を取り入れ好評であった。				
		歴史博物館	成果指標	参加者数	目標値	1,000人	達成値	2,499人
26	1-44	教育普及事業 [歴史カレッジ]	歴史カレッジの講義及び講演会の充実を図っていく。	受講者の期待に副える講座を開催できたことにより、概ね目標を達成できた。				
		歴史博物館	成果指標	受講者数	目標値	400人	達成値	562人

第四次生涯学習推進計画 各事業の進捗と検証

No.	事業No.	事業名・部署名	事業推進目標		平成30年度検証			
27	1-45	教育普及事業〔縄文体験フェスティバル in 堀之内貝塚・オータムフェスタ〕	縄文体験フェスティバル及びオータム等の充実を図っていく。		この時期は他に多くのイベントが開催され、集客が見込めないことからオータムフェスタの開催を中止した。今後は、多くの集客が見込まれる夏休み期間中のイベントの充実を図る。			
		歴史博物館	成果指標	参加者数	目標値	1,500人	達成値	1,104人
28	1-46	広報活動行事〔行事・企画展等に向けた情報提供〕	行事・企画展等に向けた情報提供の充実		市の広報紙、博物館だよりのほか、民間の情報誌にも情報を掲載し、目標を達成した。			
		歴史博物館	成果指標	広報紙掲載件数	目標値	20件	達成値	23件
29	3-1	男女共同参画センター講座事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座や講演会等への参加呼びかけなど、家庭教育学級と連携を図りながら事業を実施する。</li> <li>事業実施にあたり、男女共同参画センター使用団体など地域で活動している団体等との連携を強化する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>家族や子育てなど家庭向けの講座を家庭教育学級との「共通講座」とし、連携を図りながら事業を実施。社会生活を営む上で最小かつ最も基礎的な集団である家庭への働きかけを行うことができた。</li> <li>事業実施にあたっては地域で活動している団体等との連携を図り、地域における男女共同参画の意識啓発を行うことができた。</li> </ul>			
		男女共同参画・多様性社会推進課	成果指標	連携事業実施回数	目標値	2回	達成値	3回
30	3-2	人権啓発講演会事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演会への参加よびかけなど家庭教育学級と連携をとりながら事業実施する。</li> <li>事業の企画、立案、実施は市人権擁護委員と市が共同で行う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭教育学級と連携を図りながら事業を実施。社会生活を営む上で最小かつ最も基礎的な集団である家庭への働きかけを行うことができた。</li> <li>イベントの企画から実施まで、人権擁護委員との協働により行った。男女共同参画社会の実現には人権の尊重が不可欠であり、本事業により人権意識の高揚が図られた。</li> </ul>			
		男女共同参画・多様性社会推進課	成果指標	家庭教育学級参加数	目標値	1回 120名	達成値	1回 288名
31	4-1	東山魁夷記念館管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>通常展及び特別展の開催</li> <li>記念館コンサート及びワークショップの開催</li> <li>市民向けの講座等の開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>通常展及び特別展の開催</li> <li>記念館コンサート及びワークショップの開催</li> <li>市民向けの講座等の開催</li> </ul>			
		東山魁夷記念館	成果指標	観覧車数	目標値	30,000人	達成値	26,019人
32	4-3	市川の文化人展等事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化人展選定懇話会の実施</li> <li>「市川の文化人展」等の実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>「市川の文化人展」等の実施</li> </ul>			
		文化振興課	成果指標	来場者延人数	目標値	3,000人	達成値	5,162人
33	5-1	各種関係団体の育成・支援〔市民活動団体支援制度〕	地域のことは地域で解決することで、地域活性化を図るため、市民活動団体が提案する社会貢献活動（事業）を増加させる。		目標事業数とした1%支援制度は平成27年度をもって終了。28年度から現行制度に移行し、社会貢献活動を行う団体に対し、より事業が計画的に実施できるよう財政的な支援を安定的に行っている。※1%支援制度（平成27年度の実績 112事業）			
		ボランティア・NPO課	成果指標	提案事業数	目標値	130事業	達成値	85事業
34	5-2	情報提供事業	ボランティア情報誌を定期的に発行することで、行政機関及び市民活動団体のボランティア需要を市民等へ提供し、市民等のボランティア要望に応えることができる。		周知の効率をあげるために発行回数を4回から3回に変更したもの。今後は更なる周知を図るためweb上での情報提供を検討していく。			
		ボランティア・NPO課	成果指標	情報誌発行回数	目標値	年4回	達成値	年3回
35	5-3	各種関係団体の育成・支援〔ボランティア・NPO活動センター〕	市民活動団体関連の情報提供、ミーティングスペース及び印刷機等を設置し、センターを利用する市民活動団体等の人数増加を図る。		旧八幡市民談話室に移設し利用環境を整えたこと、また、当該施設が利用者に周知されてきたことにより利用者数が増となった。今後も多くの市民が利用できるよう、円滑な運営を図りたい。			
		ボランティア・NPO課	成果指標	利用人数	目標値	6,000人	達成値	8,120人
36	5-4	各種関係団体の育成・支援〔研修会、講習会等開催〕	市民活動団体が活性化するためには、活動する人材のスキルアップが重要であることから、講座を開催し、多くの市民活動団体の参加を促す。		座学以外にも、団体同士の交流を催したスペシャル座談会を実施し参加団体数が増となったもの。今後もより多くの団体が参加できる形で研修会を開催していく。			
		ボランティア・NPO課	成果指標	講座参加団体数	目標値	20団体	達成値	73団体

第四次生涯学習推進計画 各事業の進捗と検証

No.	事業No.	事業名・部署名	事業推進目標		平成30年度検証			
37	5-5	ボランティア活動等啓発事業 [夏休み体験ボランティア]	教育機関の多くが休業している夏季休暇期間に、行政機関及び市民活動団体で多くの学生等がボランティアすることで、ボランティアの役割や重要性を学ぶことができる。		目標値には達しなかったが、25年実績比では増となった。今後は更なる周知を図るためweb上でのボランティア体験に関する情報提供を検討していく。			
		ボランティア・NPO課	成果指標	参加人数	目標値	1,500人	達成値	1,322人
38	5-7	ボランティア・NPO活動の 拡充[協働事業提案制度]	地域の課題は地域で解決することを前提として、その解決策となる事業提案をすることで、市民等による地域活性化を促進し、行政もそのノウハウを一緒になって構築していく。		目標値には達しなかったが、毎年一定数の協働事業を実施することができた。今後はTMO講座修了生など地域活動に意欲のある人材に当該制度の活用を促し事業を活性化していく。			
		ボランティア・NPO課	成果指標	協働事業提案実施件数	目標値	7件	達成値	4件
39	5-8	消費生活センター 相談及び啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>「消費生活講座」の開催 年7回</li> <li>「出前消費者講座」の開催 年20回</li> <li>くらしの情報誌「クオリティライフいちかわ」の発行（年4回 各3,000部）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>「消費生活講座」の開催 年6回</li> <li>「出前消費者講座」の開催 年22回</li> <li>くらしの情報誌「クオリティライフいちかわ」の発行（年4回 各2,500部）</li> </ul>			
		総合市民相談課	成果指標	講座開催回数	目標値	27回	達成値	28回
40	7-3	こども発達相談室事業	市川市内の療育待機児童がでないように、行政の教育・保健・福祉関係機関とこども発達支援会議を実施していく。療育希望者が支援を受けられるように、市川市内の療育施設を増やす計画を進めていく。また、支援内容の充実のため、研修等で支援者（保育士・教諭・民間事業者等）のスキルアップを目指す。		こども発達支援会議に代り、市川市自立支援協議会こども部会等で、行政と関係機関間で情報交換を進め、連携の強化を図っている。また発達に課題のある子どもへの支援の充実を目指し、第一期障害児福祉計画を策定した。更に各機関における支援の質の向上については、支援者のスキルアップを目指し、引き続き研修等に取り組んでいる。			
		発達支援課	成果指標	市内の利用人数	目標値	9,836人	達成値	9,460人
41	7-4	中高年保育ボランティア	加速する少子高齢化・核家族化の中で市民の体験や学びの成果を園児に返すことで保育園・家庭・地域の連携強化を図る。		目標値を設定した当初より、高齢により登録を更新しないなどの理由で実績数が下がっている。中高年ボランティアの新規登録者の増員に向けてのアピールと既存登録者との良好な関係作りからの回数の増を目指す必要がある。			
		こども施設運営課	成果指標	年間延派遣回数	目標値	3,000回	達成値	1,546回
42	8-1	スポーツ指導者育成事業	市民スポーツ振興と競技力向上にあたる各種スポーツ指導者の資質と指導力の向上を図り、指導活動の促進と指導体制を確立する。		講習会参加希望の市民等に対し、スポーツ指導における講習会を座学や実技で行い、指導者の資質と指導力の向上を図った。認定者数については、講習会を全日程受講しなければ、資格試験受講資格が得られないことや資格取得後の指導者としての活動場所の不足などが影響し、達成できなかった。			
		スポーツ課	成果指標	認定者数	目標値	500人	達成値	317人